

# 第 15 回 ITS シンポジウム 2017

## ～人を繋ぎ、人を援ける ITS～

2017 年 12 月 7 日(木)～8 日(金)  
九州大学 伊都キャンパス 椎木講堂

主催 特定非営利活動法人 ITS Japan / 九州大学

協賛 (公社)計測自動制御学会, (一社)交通工学研究会, (公社)自動車技術会, (一社)情報処理学会, (一社)人工知能学会, (一社)電気学会, (一社)電子情報通信学会, (一社)電子情報通信学会九州支部, (公社)土木学会, (一社)日本機械学会, 日本交通心理学会, (一社)日本ロボット学会, 自動車技術会 ITS 部門委員会, 情報処理学会高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会, 情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, 情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会, 電気学会 ITS 技術委員会, 電子情報通信学会 ITS 研究会, 電子情報通信学会パターン認識・メディア理解研究専門委員会, 九州 IT 融合システム協議会 (ES-Kyushu)



### Final Program

プログラムは変更になる場合があります

実行委員長 安浦 寛人 九州大学 理事・副学長

プログラム委員長 福田 晃 九州大学大学院 システム情報科学研究院 主幹教授

参加登録料 論文発表者 一般 15,000 円 / 学生 8,000 円 (いずれも論文投稿料を含みます)

聴講 一般会員 15,000 円 / 一般非会員 20,000 円 / 学生 3,000 円……11 月 29 日(水)まで  
一般会員 18,000 円 / 一般非会員 23,000 円 / 学生 3,000 円……11 月 30 日(木)より

ITS Japan ウェブサイト [http://www.its-jp.org/event/its\\_symposium/15th2017/](http://www.its-jp.org/event/its_symposium/15th2017/)にてご登録ください

## 12 月 7 日(木)

9:30 開場

### 10:00-10:15 開会式

1 階ホール

実行委員長挨拶 安浦 寛人 九州大学 理事・副学長

主催者挨拶 佐々木 眞一 特定非営利活動法人 ITS Japan 会長

### 10:15-11:15 基調講演

1 階ホール

「自動運転車普及までと普及後の人の運転事故防止対策」

松永 勝也 九州大学 名誉教授  
一般社団法人安全運転推進協会 代表理事

自動運転車が普及するまでは、人が自動車を、全行程、運転せざるを得ない。また、自動運転車の普及後であっても、自動運転システムの故障は無ではないと考えられるので、人が自動車を運転せざるを得ない状況は無とはならないであろう。事故防止のための運転者対策に関し考察する。

### 11:15-11:30 休憩

### 11:30-13:00 企画セッション 1 「大災害時にも役立つ ITS」

1 階ホール

自動車の衝突予防など安全面から始まった ITS は、自動運転やシェアリングなど新しい革新技術やサービスの実現を目指して発展している。その新しい方向として、ウェアラブル ITS や車による情報ネットワークを活用した大災害時の防災・減災システムの開発がある。具体的には、①車のセンサーなどを活用したきめ細かい双方向・多言語の災害情報提供と収集、

②スマホとのメッセージ通信機能を車に装備することにより通信キャリアが使えなくなった非常時でも地域内で必須の通信を確保すること, ③瓦礫に埋もれた人や水害で孤立した人の救助などにウェアラブルな ITS を活用すること, ④障害者や移動困難な人の移動手段の確保と災害システムとの連携, などがある。こうした技術開発とアジアも含めた普及へ向けての取り組みを議論する。

モデレータ: 井上 友二 株式会社トヨタ IT 開発センター 顧問  
 パネリスト: 千村 保文 一般社団法人情報通信技術委員会 コネクテッド・カー専門委員会 委員長  
 沖電気工業株式会社 経営企画本部政策調査部 主幹  
 土居 義晴 株式会社トヨタ IT 開発センター 研究 1 部 ITS 無線 G グループリーダー  
 柴田 智広 九州工業大学大学院 生命体工学研究科 教授  
 富田 二三彦 国立研究開発法人情報通信研究機構 理事

## 13:00-14:00 昼食

## 14:00-16:05 対話セッション 1

## 1 階ホール→2 階会場 A/B/C

ポスター発表は講演番号によりコアタイム(発表必須時間)を設けます。必須時間外は発表者が空席となりますので、ご注意ください。

	概要紹介	ポスター発表 (コアタイム)			公開討議
時間	14:00-14:20	14:30-14:55	14:55-15:10	15:10-15:35	15:35-16:05
講演番号	全発表	奇数番	奇数+偶数番	偶数番	奇数+偶数番
会場	1 階ホール	2 階会場 A/B/C			

## 1-A. 災害・異常気象時のモニタリングとマネジメント

## 2 階会場 A

モデレータ: 小野 晋太郎 東京大学生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 特任准教授  
 渡部 康祐 日本工営株式会社 社会システム事業部統合情報技術部 課長

- 1-A-01 「吹雪視界予測情報と通行止め履歴との比較検証」  
○國分徹哉, 武知洋太, 大宮哲, 松澤勝(土木研究所寒地土木研究所)
- 1-A-02 「災害時のリアルタイムモニタリング・アラートシステムの開発と検証」  
○川崎洋輔(オリエンタルコンサルタンツ), 桑原雅夫(東北大学),  
堀口良太, 小宮粹史(アイ・トランスポート・ラボ), 戸高弘統, 須藤哲寛(日本気象協会),  
浦山利博(アジア航測), 田中淳(オリエンタルコンサルタンツ), 永井慎一(本田技研工業)
- 1-A-03 「斜め空撮画像を用いた被災地検出」  
○鬼頭良輔, 佐治斉(静岡大学)
- 1-A-04 「道路特徴量を利用した空撮画像レジストレーション」  
○小笠原共志, 佐治斉(静岡大学)
- 1-A-05 「震災時ヘリコプター画像を用いた車両判別」  
○牧内綾音, 佐治斉(静岡大学)
- 1-A-06 「災害時のリアルタイムな最適避難支援情報生成モデルの構築」  
○梅田祥吾, 桑原雅夫, 鈴木雄也(東北大学), 川崎洋輔(オリエンタルコンサルタンツ)
- 1-A-07 「大規模災害時の避難交通シミュレーションモデルに求められる機能要件とその適用」  
○大畑長(オリエンタルコンサルタンツ), 花房比佐友, 高橋浩司(アイ・トランスポート・ラボ),  
川崎洋輔, 藤井駿(オリエンタルコンサルタンツ), 須藤哲寛(日本気象協会),  
江藤和昭(オリエンタルコンサルタンツ), 桑原雅夫, 三谷卓摩, 梅田祥吾(東北大学)
- 1-A-08 「カーナビゲーション等への正確な避難所データ提供に向けた対応策の考察」  
○片田裕子(トヨタマップマスター)
- 1-A-09 「豪雨時の交通障害アラート検出と情報提供支援技術の開発」  
○丹治和博(日本気象協会), 桑原雅夫, 梅田祥吾(東北大学), 川崎洋輔(オリエンタルコンサルタンツ),  
須藤哲寛, 野村茂行(日本気象協会), 浦山利博, 高山陶子(アジア航測), 飯星明(本田技研工業),  
今井武(アマネク・テレマティクスデザイン),
- 1-A-10 「UHF 帯 RF-ID 及び方位情報を用いた悪天候・悪視界下の曲線路における車両誘導」  
○山口純(北見工業大学), 喜多啓介(北弘電社), 菊野亮人, 川村武, 岸本恭隆, 柏達也, 田口健治(北見工業大学)
- 1-A-11 「リアルタイム車載カメラ画像等 IoT を用いた迅速な災害時対応を可能とする配送支援モデルの構築」  
石井邦宙(アジア航測), ○花房比佐友(アイ・トランスポート・ラボ), 馬場純(インクリメント・ピー),  
坂本俊輔(グローバル・パートナーズ・テクノロジー), 吉田浩一(ローソン), 桑原雅夫(東北大学)

## 1-B. トラフィックモニタリング

## 2 階会場 B

**モデレータ:** 中野 公彦 東京大学 情報学環 / 生産技術研究所次世代モビリティ研究センター 准教授  
尾崎 信之 東芝インフラシステムズ株式会社 技監

- 1-B-01 「離散ウェーブレット変換を用いた路側設置マイクによる車両検出手法の提案」  
○久保一雄, 李承諭, 石田繁巳(九州大学), 田頭茂明(関西大学), 福田晃(九州大学)
- 1-B-02 「線路脇マイクロフォンを用いた列車検出手法の提案」  
○佐藤孝嗣, 石田繁巳, 梶村順平, 内野雅人(九州大学), 田頭茂明(関西大学), 福田晃(九州大学)
- 1-B-03 「Bluetooth データを活用した交通状態推定に関する基礎的研究」  
○吉田政範, 竹之内篤, 桑原雅夫(東北大学)
- 1-B-04 「スマートインターチェンジにおける人車分離センサの評価検証」  
○加藤慧, 館誠一, 佐藤元彦, 河合功介, 手嶋英之, 広正樹(中日本高速道路), 永田実(北陽電機), 松本滋(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋)
- 1-B-05 「WCN を用いた新たな交通流動調査の適用可能性」  
○鈴木祐太郎, 遠藤学史(首都高速道路), 泉典宏, 田中淳, 山口大輔, 土屋克貴(オリエンタルコンサルタンツ)
- 1-B-06 「プローブデータによる豪雪災害時における滞留車両の検出方法の構築」  
○熊倉大起, 梅田祥吾, 三谷卓摩(東北大学), 川崎洋輔(オリエンタルコンサルタンツ), 桑原雅夫(東北大学)
- 1-B-07 「携帯電話基地局データ・プローブデータを活用した交通影響モニタリングの可能性に向けた実証実験」  
○鈴木健太郎(阪神高速技研), 山本昌孝, 萩原武司(阪神高速道路), 南川敦宣(KDDI), 梶原康至(ナビタイムジャパン), 太田恒平(トラフィックブレイン)
- 1-B-08 「車両検知器データによるサグ部の CNN を用いた交通渋滞予測モデル」  
○幡山五郎, 七條大樹, 阿部敦(オムロンソーシアルソリューションズ), 萩原武司(阪神高速道路)
- 1-B-09 「ローカル鉄道向け乗降者カウントシステムの開発」  
○廣重法道, 吉村賢治, 中西恒夫, 鶴田直之, モシニヤガ ワシリー, 高橋伸弥, 乙武北斗, 田辺利文, 古庄裕貴, 橋本浩二(福岡大学)
- 1-B-10 「対向車線の車両観測データを用いた交通流モニタリング-流出入交通による影響の分析」  
○河合克哉(三菱電機), 竹之内篤(東北大学), 伊川雅彦(三菱電機), 桑原雅夫(東北大学)
- 1-B-11 「動的計画法を用いた車両組み合わせ及び交通状況の推定」  
○萩原武司(阪神高速道路), 櫻木伸也(オムロン), 阿部敦(オムロンソーシアルソリューションズ)

## 1-C. 交通ビッグデータの活用

## 2 階会場 C

**モデレータ:** 峯 恒憲 九州大学大学院 システム情報科学研究院情報知能工学部門 准教授  
奥出 真理子 株式会社日立製作所 研究開発グループスマートシステム研究部 主任研究員

- 1-C-01 「ETC2.0 プローブ情報を活用した発災直後における交通状況のモニタリング」  
○加藤哲, 松田奈緒子, 瀬戸下伸介, 瀧本真理, 安居秀政(国土技術政策総合研究所)
- 1-C-02 「高速道路曲線部におけるジャック最小化原理を用いた自由流速度プロファイルモデル」  
○ディアス チャリタ, 大口敬(東京大学), ウィマラセナ カスン(ルフナ大学)
- 1-C-03 「ETC2.0 プローブ情報を活用した環状高速道路の交通状態推計に関するケーススタディ」  
○後藤梓, 大嶋一範(国土技術政策総合研究所), 山田康右(パンフィックコンサルタンツ), 堀口良太(アイ・トランスポート・ラボ), 榊真, 吉田秀範(国土技術政策総合研究所)
- 1-C-04 「ETC2.0 プローブ情報を活用した首都圏高速道路ネットワークにおける圏央道開通効果に関する分析」  
○小木曾俊夫, 後藤梓, 榊真, 吉田秀範(国土技術政策総合研究所)
- 1-C-05 「リンク認知を考慮したリンクベース再帰的ロジットモデルによる首都圏経路選択の分析」  
金子法子(東京工業大学), 岡英紀(計量計画研究所), 力石真(広島大学), ○福田大輔(東京工業大学)
- 1-C-06 「プローブデータの特性を考慮した都心部における Macroscopic Fundamental Diagram に関する研究」  
尾高慎二(オリエンタルコンサルタンツ), 吉井稔雄(愛媛大学), 神戸信人(オリエンタルコンサルタンツ)
- 1-C-07 「ETC2.0 と高精度雨量レーダデータをマッチングした交通障害検知に関する検討」  
○吉田真純(日本気象協会), 江田重之(日本道路交通情報センター), 丹治和博, 須藤哲寛, 野村茂行(日本気象協会), 武智彩(日本道路交通情報センター)
- 1-C-08 「ETC2.0 特定プローブデータを活用した高速バス運行管理支援の可能性検討」  
○山口億人(東武ビジネスソリューション), 蒲澤和浩(東武バスイースト), 平沢隆之, 坂井康一, 須田義大(東京大学), 藤本功, 川畑光輝, 藤永怜男(システム・キープ・ヤード), 早木建史(モバイルクリエイト)
- 1-C-09 「大規模建設事業におけるETC2.0 技術の活用実証実験」  
○小松深志, 大和田徹, 久野亨(ITS サービス高度化機構), 菊山幸輝, 藤高勝己, 望月篤, 市本哲也(日本工営)

- 1-C-10 「ETC2.0を活用した商業物流業務支援に関する実証実験」  
○大和田徹, 久野亨(ITS サービス高度化機構), 小川二郎, 内海泰輔, 尾崎守宏(長大)
- 1-C-11 「ETC2.0を活用した車両運行管理支援サービスの導入効果について」  
○大竹岳, 大嶋一範, 根岸辰行, 吉田秀範(国土技術政策総合研究所)

## 16:05-16:15 休憩

## 16:15-18:20 対話セッション 2

## 1 階ホール→2 階会場 D/E/F

ポスター発表は講演番号によりコアタイム(発表必須時間)を設けます。必須時間外はポスター発表者が空席となりますので、ご注意ください。

	概要紹介	ポスター発表 (コアタイム)			公開討議
時間	16:15-16:35	16:45-17:10	17:10-17:25	17:25-17:50	17:50-18:20
講演番号	全発表	奇数番	奇数+偶数番	偶数番	奇数+偶数番
会場	1 階ホール	2 階会場 A/B/C			

## 2-A. 交通挙動とマネジメント

## 2 階会場 D

**モデレータ:** 今井 龍一 東京都市大学 工学部都市工学科 准教授  
仲条 仁 株式会社ケー・シー・エス プロダクト・ソリューション室長 / 上級コンサルタント

- 2-A-01 「920MHz を用いた交差点安全支援システムの検討」  
○竹内聡希, 宇野新太郎(愛知工科大学)
- 2-A-02 「ESTRA プローブデータによる交通事象の検出可能性」  
○田中準二, 望月克哲(矢崎エナジーシステム), 高橋真人, 松本章宏(長大)
- 2-A-03 「事故リスクデータを活用したナビゲーションの検討 ～低リスク経路案内～」  
○岩里泰幸, 宇野巧(阪神高速道路), 福士達央(ナビタイムジャパン), 太田恒平(トラフィックブレイン), 大藤武彦, 小澤友記子(交通システム研究所)
- 2-A-04 「学習型画像センシングによる実交通状況のデータ化とその活用」  
○兒玉崇, 鈴木英之, 増本裕幸, 北澤俊彦(阪神高速道路), 鈴木健太郎(阪神高速技研), 中西雅一, 田名部淳(地域未来研究所), 中條覚(三菱総合研究所)
- 2-A-05 「Kinematic Wave 理論に基づく事故影響簡易評価シミュレーションを用いた事故渋滞に伴う CO<sub>2</sub> 排出量推計手法の検討」  
○栗栖嵩, 大島大輔, 光安皓(パシフィックコンサルタンツ), 桑原雅夫(東北大学), 堀口良太, 高橋浩司(アイ・トランスポート・ラボ), 金成修一(日本自動車研究所)
- 2-A-06 「大型車両の通行許可情報の電子データによる経路情報提供」  
○根岸辰行, 大嶋一範, 大竹岳, 吉田秀範(国土技術政策総合研究所)
- 2-A-07 「入力画像の品質と枚数の制約が車載魚眼カメラ画像の高精細化に及ぼす影響の考察」  
高野照久, 小野晋太郎(東京大学), 松下脩暉(鹿児島大学), 〇川崎洋(九州大学), 池内克史(東京大学)
- 2-A-08 「スマホナビプローブ情報を活用した急加減速多発地点抽出の取り組み」  
○八木浩一(バンプレコーダー), 宮崎健一(フリックテック)
- 2-A-09 「路面プロジェクションに関する視認性評価及び設置パターン検証」  
○高橋功, 松尾幸二郎, 米川元太(豊橋技術科学大学), 寺倉嘉宏(キクテック), 杉木直(豊橋技術科学大学)
- 2-A-10 (キャンセル)
- 2-A-11 「交通量計測システム用途のミリ波レーダの実用的な評価」  
○亀田修(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京), 山本浩司(中日本高速道路), 小島崇行(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京), 面上秀之, 松木功, 越峠知明(日本無線)

## 2-B. トラフィックマネジメント・シミュレーション

## 2 階会場 E

**モデレータ:** 大口 敬 東京大学生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 教授  
川崎 洋輔 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 東北支店技術部 技術主査

- 2-B-01 「機械学習による時刻変動の顕著なバス停間の移動時間予測」  
○マンズルアス, 峯恒憲(九州大学)
- 2-B-02 「多目的最適化アプローチによる交通混雑と道路損傷を考慮した動的システム最適配分の分析」  
○中田雄大, 和田健太郎, 大口敬(東京大学)



- 2-B-03 「交通シミュレーションによる高度化 PTPS を活用したバスの優先制御方式に関する基礎的研究」  
○今川高嶺, 大島大輔, 光安皓(パシフィックコンサルタンツ)
- 2-B-04 「ドライビングシミュレータを用いた 実在環境下における車両への推奨走行情報提供による CO<sub>2</sub> 排出量の削減効果分析」  
○石黒祥梧, 松本幸正(名城大学), 杉田正俊(日本道路交通情報センター)
- 2-B-05 「幹線道路における信号情報に反応するドライバーの割合が信号通過に及ぼす影響の分析」  
○西尾和也, 松本幸正(名城大学), 杉田正俊(日本道路交通情報センター)
- 2-B-06 「Kinematic Wave 理論に基づく工事・事故時の交通規制による影響の簡易評価シミュレーションの開発」  
○高橋浩司, 堀口良太(アイ・トランスポート・ラボ)
- 2-B-07 「全方位映像を活用した道路維持管理業務支援に関する研究」  
○坂井康一, 大石岳史, 小野晋太郎, 岡本泰英, 平沢隆之(東京大学)
- 2-B-08 「仮想交通実験環境における異常時を含めた視覚環境等の再現性にかかる課題の研究」  
○小野晋太郎, 杉町敏之, 貝塚勉, 坂井康一, 和田健太郎, 平沢隆之, 大口敬, 須田義大, 大石岳史, 中野公彦(東京大学)
- 2-B-09 「隊列走行トラックの長編成化と高速道路合流部の運用方法に関する研究」  
○平田輝満, 影山拓哉, 讃良将信(茨城大学)
- 2-B-10 「三次元デジタル地図におけるテクスチャマッピング技術」  
北村弘継, GuYanlei, 上條俊介(東京大学)
- 2-B-11 「交通シミュレーションのための分散マルチエージェントシミュレータの提案」  
○林政行(名古屋工業大学), Rafik Hadfi (Monash University), 大塚孝信, 伊藤孝行(名古屋工業大学)

## 2-C. 自動運転

## 2 階会場 F

**モデレータ:** 志堂寺 和則 九州大学大学院 システム情報科学研究院 情報学部門 教授  
佐藤 健哉 同志社大学大学院 理工学研究科情報工学専攻 教授 /モビリティ研究センター センター長

- 2-C-01 「疑似搭乗体験システムを用いた自動走行車両の速度感と安心感の調査」  
○坂村祐希(筑波大学), 富田瑛智(大阪大学), 大戸英彦, 亀田能成, 原田悦子, 北原格(筑波大学)
- 2-C-02 (キャンセル)
- 2-C-03 「ラストワンマイル自動走行システムの実現に向けた研究の取り組みの紹介」  
○大前学, 大塚崇夫, 田川慶樹, 水島知央(慶應義塾大学)
- 2-C-04 「オブティカルフローによる自車両の方位変化推定の一手法」  
○高橋健大, 塚元康輔(茨城大学)
- 2-C-05 「自動運転技術の過渡期における渋滞軽減効果手法」  
○古川義人(神奈川工科大学), 徳永雄一(三菱電機), 斎藤正史(金沢工業大学), 清原良三(神奈川工科大学)
- 2-C-06 (キャンセル)
- 2-C-07 「自動運転バスの信号交差点通過制御」  
○楊波(東京大学), 安藤孝幸, 釘宮航, 坂本正哉, 青木啓二(先進モビリティ), 貝塚勉, 中野公彦(東京大学)
- 2-C-08 「自動運転の社会実装に向けた新たな展開～ITS R&R 実験フィールドの構築～」  
○杉町敏之, 林世彬, 貝塚勉, 河野賢司, 須田義大, 中野公彦(東京大学)
- 2-C-09 「自動運転車両をもちいた社会受容性の検証」  
○佐治友基, 佐々木悠祐, 江尻修平(SBドライブ), 須田義大(東京大学)
- 2-C-10 「道路環境が自動運転の認識性能に及ぼす影響評価に関する基礎的研究」  
○持田陽平, 鹿貫悠多, 小木津武樹(群馬大学)
- 2-C-11 「カメラを用いた走行環境と GNSS 測位誤差との関係性評価手法の基礎的研究」  
○田部陽大, 鹿貫悠多, 小木津武樹(群馬大学)

**太字は査読あり部門に投稿され、審査を経て採用が決まった査読付き論文です。**

## 18:40- バンケット

## 椎木講堂 2 階

イタリア料理店 イトリー・イト  
九州大学伊都キャンパス椎木講堂 2 階 TEL 092-807-0270

# 12月8日(金)

9:30 開場

## 9:50-11:20 企画セッション2「九州の観光とITS」

1階ホール

インバウンド訪日外国人旅行者は年間2,000万人を突破した。その5人に4人はアジアからの来訪客である。九州は地理的にも歴史的にもこのアジアに近く、アジアの客を乗せた大型クルーズ船の寄港回数は拡大を続けている。しかし、観光を目的とした国内の移動の利便性や安全性は必ずしも高くない。また、地域再生のためにも今後の観光は目的地の競争力を高める観光商品を顧客に提供する着地型モデルに移行すると思われる。本シンポジウムでは、九州における観光の取り組みや動向について、官民から取り組みや話題を提供し、ICTと人のかかわりや、ITS技術、地域に係わる種々のビッグデータ分析によっていかにモビリティ水準をいかに高め、潜在的な顧客や商品を発見、開発するか、その可能性について議論したい。

- モデレータ： 溝上 章志 熊本大学大学院 先端科学研究部 教授
- パネリスト： 阿部 雄介 国土交通省 九州運輸局 観光部長  
高橋 誠 一般社団法人九州観光推進機構 エグゼクティブアドバイザー  
浦上 英樹 株式会社くまもとDMC 専務取締役  
前 浩久 西日本高速道路株式会社 九州支社 保全サービス事業部長

## 11:20-11:30 休憩

## 11:30-13:00 企画セッション3「地域の『くらしの足』におけるITSのこれから」

1階ホール

2007年に地域公共交通活性化・再生法が施行され、2014年には交通政策基本法も施行されて、「くらしの足」を地域主導で維持しようとする動きを公的に支援・制度化している。そしてそういった動きが各地で多々見られるが、自家用車化の進むなか、公共交通のような「くらしの足」における情報・情報技術がどのようにあるべきか、という議論はなかなか進んでこなかったと考えられる。このセッションでは、アナログ・デジタル問わず「情報」の「くらしの足」における位置づけやありかたを再考し、「くらしの足」におけるITSのこれからのありかたを考えていきたい。

- モデレータ： 大井 尚司 大分大学 経済学部門 准教授
- パネリスト： 阿部 俊彦 国土交通省九州地方整備局 道路部 道路調査官  
稲永 健太郎 九州産業大学 理工学部情報科学科 准教授  
貞包 健一 有限会社三ヶ森タクシー 代表取締役  
城代 寛昭 株式会社ニモカ 代表取締役社長  
森田 均 長崎県立大学 国際社会学部教授 地域連携センター長

## 13:00-14:00 昼食

## 14:00-16:05 対話セッション3

1階ホール→2階会場 A/B/C

ポスター発表は講演番号によりコアタイム(発表必須時間)を設けます。必須時間外はポスター発表者が空席となりますので、ご注意ください。

	概要紹介	ポスター発表 (コアタイム)			公開討議
時間	14:00-14:20	14:30-14:55	14:55-15:10	15:10-15:35	15:35-16:05
講演番号	全発表	奇数番	奇数+偶数番	偶数番	奇数+偶数番
会場	1階ホール	2階会場 A/B/C			

## 3-A. 交通安全

2階会場 A

- モデレータ： 合志 和晃 九州産業大学 理工学部情報科学科 教授  
鈴木高宏 東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授

- 3-A-01 「アソシエーション分析を用いた高齢運転者の無信号交差点における安全不確認と出会い頭事故の関連性分析」**  
○楊甲, 西堀泰英, 安藤良輔(豊田都市交通研究所), 樋口恵一(大同大学)
- 3-A-02 「fNIRS による交通安全施設の実践的研究(最終編)」  
○折野好倫, 山本浩司, 山本隆(中日本高速道路),  
高橋秀喜(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋), 矢澤秀樹(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京),  
加藤俊徳(脳の学校), 杉町敏之, 中野公彦, 須田義大(東京大学)
- 3-A-03 「聴覚情報を活用した異常事象等伝達手法による注意喚起の研究(3)」  
○矢澤秀樹(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京), 伊藤佑治, 山本浩司, 亀岡弘之(中日本高速道路),  
高橋秀喜(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋), 亀川徹(東京藝術大学)
- 3-A-04 「効率と安全性を同時に考慮した孤立交差点の交通信号設定の多目的最適化」  
○ムハンマド アブドゥラ, 大口敬(東京大学)
- 3-A-05 「市民協働型交通安全アプリケーションの創出」  
○高野茂(九州大学), 大野沙知子(名古屋大学), 西釜義勝, 馬場隆寛(九州大学)
- 3-A-06 「車線変更時の後方死角検知装置の警報音の評価」  
貝塚勉, 黄黎(東京大学), 下平真武, 稲垣勝利(パイオニア), ○中野公彦(東京大学)
- 3-A-07 「車線変更時のブラインドスポットモニタリングの提示する手法と評価」  
○黄黎, 貝塚勉(東京大学), 小杉正則, 河田充弘, 佐々木しのぶ(東海理化), 中野公彦(東京大学)
- 3-A-08 「ロードバイク運転時の運転者の視線特性と市街地走行時の危険性の考察」  
○尾林史章, 小塚一宏(愛知工科大学)
- 3-A-09 「カーナビアプリを活用した逆走対策」  
○小川佳裕, 萩原武司(阪神高速道路), 渡辺俊彦(ナビタイムジャパン), 太田恒平(トラフィックブレイン)
- 3-A-10 「ヒヤリハットデータベースを用いた地方都市における交通危険場面の分析」  
○菅井頌太, 御室哲志(秋田県立大学)

## 3-B. トラフィックマネジメント

## 2 階会場 B

**モデレーター:** 森田 均 長崎県立大学 国際社会学部 教授 / 地域連携センター長  
浦 正勝 西鉄情報システム株式会社 理事 / 営業推進本部 IT 営業主幹

- 3-B-01 「地域公共交通基盤データの作成省力化ツールの開発」**  
○稻永健太郎(九州産業大学), 西山准矢(コンピューターサイエンス), 原田航輔(パーソル R&D)
- 3-B-02 「高密度ネットワークにおける異常気象時の経路選択行動: 東京一集中豪雨におけるケーススタディ」**  
○W.R.S.S. ダルマラシュナ, 羽藤英二(東京大学)
- 3-B-04 「携帯端末を用いた高精度地図を構成する準静的データ取得に関する社会実験とデータ分析」**  
○大野沙知子, 手嶋茂晴(名古屋大学)
- 3-B-05 「首都高速道路における可変チャネルリゼーションの導入可能性の検証」  
○友久響, 角田征, 岡野孝司(首都高速道路), 田中淳, 藤井駿(オリエンタルコンサルタンツ),  
藤田典之, 深水寛(キクテック)
- 3-B-06 「本線軸重計システムの評価検証」  
○山田丈裕, 新宅昭文(中日本高速道路),  
佐藤尚良, 阿部敦, 川崎洋輔, 幡山五郎(オムロンソーシアルソリューションズ)
- 3-B-07 「道路管理業務で活用するための車両搭載センシング技術の検討」  
○大嶋一範, 大竹岳, 根岸辰行, 吉田秀範(国土技術政策総合研究所)
- 3-B-08 「駅における地域交通への電子透かしを用いた乗り換え案内ツールの提案と実験評価」  
○平沢隆之, 田村大樹, 河野賢司, 須田義大, 坂井康一(東京大学)
- 3-B-09 「高速道路の運用施策の事前評価等のための仮想交通実験環境の要件にかかる研究」  
○坂井康一, 和田健太郎, 小野晋太郎, 貝塚勉, 杉町敏之, 平沢隆之, 大口敬, 須田義大, 中野公彦,  
大石岳史(東京大学)
- 3-B-10 「エネルギーライフログデータベースと V2G 技術を用いた再生可能エネルギーとピーク需要を平衡させるシミュレーションシステム」  
○茨木隆兵, 田中雄哉, 富井尚志(横浜国立大学)
- 3-B-11 「プローブデータを用いた簡易なマップマッチングの基礎的研究」  
○小泉慶太, 今井龍一(東京都市大学), 仲条仁, 藤井琢哉(ケー・シー・エス)
- 3-B-03 「都市の規模と構造の違いによるカーシェアリングシステムの導入可能性の検討」  
○山本真生, 溝上章志(熊本大学)

**モデレータ:** 辰巳 浩 福岡大学 工学部社会デザイン工学科 教授  
 小塚 一宏 愛知工科大学 高度交通システム研究所 名誉教授/特任教授

- 3-C-01 「待ち時間を短く感じさせる色彩空間の基礎検討」**  
 ○森博子, 荻野ちなみ(愛知淑徳大学)
- 3-C-02 「聴覚情報を活用したトンネル内進入抑制システムの開発」  
 ○山本浩司, 伊藤佑治, 手嶋英之(中日本高速道路),  
 高橋秀喜(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋), 矢澤秀樹(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京),  
 加藤俊徳(脳の学校), 杉町敏之, 中野公彦, 須田義大(東京大学)
- 3-C-03 「生体磁気刺激によるドライバ覚醒効果に関する検証 ― 磁気刺激順序による効果の考察 ―」  
 ○塚田将司, 竹川周吾, 中野倫明, 山田宗男(名城大学), 毛利佳年雄(名古屋産業科学研究所)
- 3-C-04 「ながら歩行抑止システムの構築及び有効性の検証」  
 ○伊藤正都, 石塚敦司, 山本匠, 山崎初夫, 中野倫明, 山田宗男(名城大学)
- 3-C-05 「ヴァーチャリアリティ環境での歩行者実験に適した歩行者モデルの開発」  
 ○長谷川悠(東京大学), 井料美帆(名古屋大学)
- 3-C-06 「異なるタイプのボトルネック上流における歩行者交通流基本図の実験的評価」  
 ○張嘉華(東京大学), 井料美帆(名古屋大学), ディアス チャリタ(東京大学)
- 3-C-07 「Wi-Fi パケットセンサーを用いた高山市の観光客の行動把握」  
 ○笹圭樹, 絹田裕一, 和泉範之, 廣川和希, 牧村和彦, 鈴木紀一(計量計画研究所),  
 西田純二(社会システム総合研究所)
- 3-C-08 「Wi-Fi スポット周辺の人々の行動分析」  
 Jeanne Faurie, 島田敬士, 堀磨伊也, ○尾ノ上晃, 中山経太, 谷口倫一郎(九州大学)
- 3-C-09 「自動運転(SAE レベル 3)における権限委譲問題」  
 ○緒方瞭, 井鍋祐介, 中野貴之, 志堂寺和則(九州大学)
- 3-C-10 「デザイナーから見た自動運転」  
 ○羽田隆志(静岡文化芸術大学)
- 3-C-11 「卓球トレーニングで運転能力を向上させることが可能か？」  
 ○朴啓彰, 濱田美穂(高知工科大学), 山崎齊, 村上隆, 河原誠(タマス), 森照明(社会医療法人敬和会)

太字は査読あり部門に投稿され、審査を経て採用が決まった査読付き論文です。

## 16:05-16:25 休憩

## 16:25-16:45 閉会式

## 1 階ホール

プログラム委員長講評 福田 晃 九州大学大学院 システム情報科学研究院 主幹教授  
 ベストポスター賞授与

## プログラム委員会

委員長: 福田 晃 (九州大学)

副委員長: 峯 恒憲 (九州大学)

委員: 井上 弘士(九州大学), 井上 友二(トヨタ IT 開発センター), 今井 龍一(東京都市大学), 浦 正勝(西鉄情報システム), 大井 尚司(大分大学), 小野 晋太郎(HRI/東京大学), 合志 和晃(九州産業大学), 是久 洋一(九州大学), 志堂寺 和則(九州大学), 辰巳 浩(福岡大学), 仲条 仁(ケー・シー・エス), 中西 恒夫(福岡大学), 中野 公彦(東京大学), 溝上 章志(熊本大学), 森田 均(長崎県立大学), 渡部 康祐(日本工営)



特定非営利活動法人 ITS Japan  
 〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館ビル  
 TEL 03-5777-1011 / FAX 03-3434-1755 / <http://www.its-jp.org>